



『過去には帽子を脱いで敬意を表し、未来には上着を脱いで立ち向かいなさい。』

住所 札幌市中央区宮ヶ丘1丁目2-1 電話 011-631-0010

<http://www.jingumae-dc.jp>

◀ GW休診のお知らせ ▶

4月29日(金)	休診
4月30日(土)	通常通り診療
5月1日(日)	休診
5月2日(月)	通常通り診療
5月3日(火)~5月5日(木)	休診
5月6日(金)	より通常通り診療

から、過去を振り
返り、諸先輩方
ら学び、患者の皆
さまへ更なる歯科
医療の充実とサー
ビスで対応させてい
ただけるよう努力
していきたいと思
います。

まだまだ行き届
かない部分もある
かと思いますが、今
後とも神宮前歯科
クリニックを宜しく
お願い申し上げます
。何かございましたら、
お声掛けください。

ようやく雪も解け、春らしくなってきましたね。円山公園から差し込む日差しも強くなり、益々エネルギーが沸いて、気持ちも高ぶってきます。今月の後半には、桜の開花も待ち遠しくなってくる頃ではないでしょうか。今にも円山公園から、ジンギスカンの香りが漂ってきそうですね。

さて、今月は、歯科医療の大家とも言われる下川先生の講演会があり参加します。43年間の臨床で得た経験談を講演してくださいます。現在の歯科医療の基礎を作った先輩方の多くは、まだまだお元気ですが70歳を超え、歯科医療の真髓や歴史という話を聞く機会が、だんだん貴重になってきます。過去から学ぶことは、未来に進む基本になるところです。今年度は、全国規模の学会で発表する場をいただきました。一步一步の積み重ねの大切さを感じながら、

○ ● ○ スタッフ情報 ○ ● ○

こんにちは、衛生士の三浦です。北海道の長い冬も終わり、雪解けの春ですね。先日、実家の岩見沢に帰った時に渡り鳥を目にしました。毎年癖になってしまっているのですが、幼い頃からこの季節になると、渡り鳥の鳴き声を聞くたびに空を見上げ、どこを飛んでいるのか、そして白鳥なのかマガンかを探してしまいます。仲間とはぐれないように、声をかけながら一生懸命飛んでいる姿を見ると応援したくなりますよね。

毎年当たり前だったその癖も、札幌に住んでからは鳴き声が聞こえにくいので、空を見上げることが少なくなっていたことに気がきました。この時期、札幌でも耳を澄まして空を見上げてみようと思います。

今月の言葉

『過去には帽子を脱いで敬意を表し、
未来には上着を脱いで立ち向かいな
さい。』 クレア・ブース・ルース

◇ ◆ ◇ 耳より情報 ◆ ◆ ◆

こんにちは、衛生士の藤井です。今日は“歯応え”についてお話したいと思います。食事をする時「おいしい」と感じるためには味・見た目だけでなく温度や舌ざわり、そして歯応えも重要です。もしも全ての食べ物がペースト状だったらどんなに味が良くても食事を楽しめないですよ。歯応えを感じるのは歯の表面ではなく、歯と歯を支える骨の間にある「歯根膜」という部分です。

この歯根膜は歯を守るクッションの役割をするとともに、歯にかかる圧力を精密に感知するセンサーでもあります。歯と骨を繋ぐ筋繊維のような部分ですが虫歯や歯周病で歯を抜いてしまうとこの歯根膜まで一緒に失うこととなります。「入れ歯にすると食事が美味しくないとよく聞きますが、その原因の1つはこの歯根膜を失ったことにより歯応えを感じるセンサーが鈍くなったからなのです。抜けた歯は様々な方法で補う事ができますが、歯根膜を補う事はできません。

ですから“歯応え”を感じる歯根膜をなくさないためにも、皆さん1本1本の歯を大切にしてくださいね。